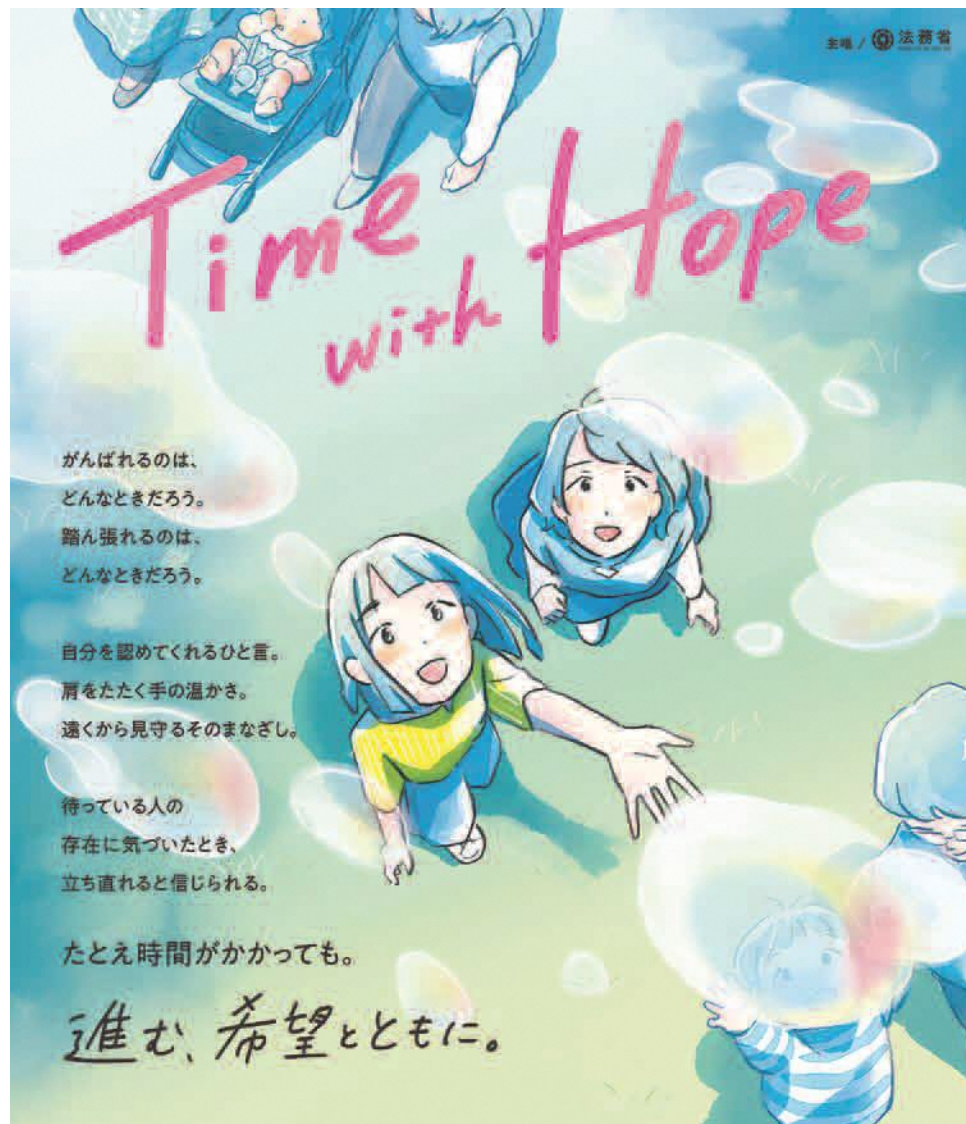




加茂地区 保護司会報 (加茂市・田上町)

博 善

第 74 号

●加茂地区保護司会
(加茂市・田上町)加茂市社会福祉協議会内
電話 0256-52-6667●社会を明るくする運動
実施委員会加茂市社会福祉協議会内
電話 0256-52-6667田上町役場保健福祉課内
電話 0256-57-6112加茂地区保護司会
会長 黒 隆

地域に貢献する保護司活動を目指して

皆様には日頃より更生保護事業にご理解とご支援を頂いて
おりますことに深く感謝申し上げます。

加茂地区(加茂市・田上町)の保護観察事件の件数は近年大
変少ない状態が続いております。(一月末現在、県内二百二
十件・加茂地区ゼロ件。加茂地区はこの数年間は多い時でも
一、二件で推移)これは関係機関の方々が犯罪予防に力を注
いでいることの結果であり、大きな成果です。

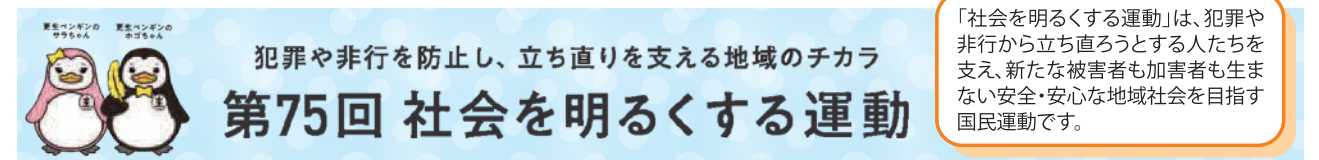
七月は「社会を明るくする運動」犯罪や非行を防止し、立
ち直りを支える地域のチカラ」の強調月間です。この期間、
加茂市役所・田上町役場の庁舎に懸垂幕の掲示、加茂川に架
かる葵橋に横断幕設置、街頭広報活動等々の啓発活動を予定
しております。

罪や非行をした人が社会復帰するには地域の方々の支援が
不可欠です。立ち直ろうとする思いを受け入れてくれる家
庭・地域の支えが社会復帰の特効薬になるのです。「社会を
明るくする運動」へのご理解とご協力をお願いいたします。

私たち保護司は「保護観察」「生活環境調整」「犯罪予防
活動」が主な仕事で、その活動拠点として「更生保護サポー
トセンター」が設置されています。センターでは保護観察対
象者との面接、各種会議、研修、事務等を行っております。

今後は地域の方の犯罪予防に関する相談対応・支援を行い、
地域に貢献するサポートセンターを目指していきたいと考え
ております。更生保護に関するご相談等がございましたらお
気軽にお越しください。

(※サポートセンターの連絡先は四ページをご覧ください。)



「社会を明るくする運動」は、犯罪や
非行から立ち直ろうとする人た
ちを支え、新たな被害者も加害者も生ま
ない安全・安心な地域社会を目指す
国民運動です。

令和7年度実施計画

- ◎保護司会報「博善」の発行(7月・3月。全世帯配布)
- ◎加茂・田上地区学校・警察等連絡協議会講演会の共催(7月10日)
- ◎区長会との連携による県内の更生保護施設の視察研修と意見交換(10月)
- ◎中学校教室(若宮中学校・田上中学校)



加茂市実施委員会	啓 発 宣 伝 活 動	田上町実施委員会
◎懸垂幕の掲示(市役所庁舎) ◎横断幕の掲出(葵橋欄干) ◎ポスターの掲出とチラシの回覧 ◎街頭広報 ◎啓発用品の配布		◎懸垂幕の掲示(町役場庁舎) ◎のぼり旗の設置(町内3箇所) ◎街頭広報(羽生田駅・田上駅、7月8日) ◎啓発用品の配布
◎地区を通じた「愛の協力運動」 会員募集活動	「愛の協力運動」	◎地区を通じた「愛の協力運動」 会員募集活動(7月中)
◎作文コンテスト応募の要請 ◎加茂中学校「社会を明るくする運動 あいさつ運動」参加(12月)	小・中学校訪問活動	◎作文コンテスト応募の要請(7月8日) ◎田上中学校「田上町いじめ見逃し ゼロスクール集会」参加(10月14日)
◎ミニ集会 七谷中学校区(10月) - 葵中学校区[下条](10月25日) - 葵中学校区[西加茂](11月30日) - 若宮中学校区	講演会・ミニ集会 	◎「心の健康づくり」保健講演会 (田上中学校PTA厚生部と共催・ 11月14日) - 講師：田澤葉月氏 - 参加者：中学校全校生徒・保護者
加茂中学校 「社会を明るくする運動」 あいさつ運動	田上中学校へ 作文コンテスト 応募の要請	◎ブックスタート事業 子どもの出生にあわせて絵本リスト から1冊+ぬりえ1冊寄贈 ◎各種町内イベントでののぼり旗の設 置等 ◎ホームレス旅費支給事業
そ の 他		

加茂地区保護司会報『博善』は、
皆様からいただいた
「愛の協力運動」会費により
発行されています。



加茂地区 更生保護サポートセンター

加茂市大字狭口甲1076-1
老人憩いの家「かも川荘」内
電話 0256-52-4412
〔水・木曜日〕9:45～15:45

加茂地区保護司会が更生保護活動をする
拠点です。どんなことでも御相談下さい。



第74回「社会を明るくする運動」作文コンテスト
小学生の部 特別賞（新潟県更生保護女性連盟会長賞）

あいさつで気持ちは変わる

加茂市立加茂小学校 六年（現 中学一年）

番 場 葵 彩

「おはようございます。」「こんにちは。」「こんばんは。」みなさんはどんなときでも誰にでもあいさつをしていますか？私が通う加茂小学校では学校へ登校するとき、横断歩道にボランティアの方が旗を持って、「おはようございます。」と横断歩道を通る人みんなにあいさつをしています。私達が「おはようございます。」と返すと、優しく「いってらっしゃい。」と言ってくれます。ボランティアの方は大雨でも、大雪でも毎日あいさつをしてくれます。私は学校へ登校するときにボランティアの方とこのような交流ができます。他にも、加茂小学校では運営委員会の人が一日ごとに交代しながら、毎日児童玄関に立って学校へ登校する加茂小児童にあい

さつをしています。私が児童玄関に立って、「おはようございます。」とあいさつをすると、「おはようございます。」と言って返してくれる人や、委員会の人達より先にあいさつをしてくれる人がいます。ここでも交流ができます。ですが、中にはあいさつをして声を出さずにおじぎだけをして校内に入っていく人や、友達との会話に夢中になってそのまま素通りする人もいます。それでも私はあいさつをします。なぜなら私は、あいさつにはメリットがたくさんあると考えるからです。私がいさつを続けるのは、心が温かくなったり、いろんな人と交流できたりするからです。あいさつをして、返してもらえたら嬉しいです。それに、気持ち良くな

ります。そして、家族や地域の人もあいさつをすることで会話がふくらみ、仲良くなるができます。犯罪や非行をしてしまう人は、心の気持ちが不安定になっている人が多いそうです。ですが、日頃からあいさつや会話をしておくことで信頼できる人ができます。すると、みんなが笑顔で過ごすことができる環境ができたり、その人にSOSを求めることができる環境ができていきます。そうなる、その人に相談することができ、情報を共有することができたり、地域のひととのトラブルが少なくなる、何かあったときに助け合ったりできるなどのメリットもあります。すると、その地域の安全性や安心感も高めることができます。

さらに、みんなが笑顔で過ごせたり、SOSを求めたりすることができる関係をつくるためには、自分がやられていやだと思ふことは、やらないようにすることが大切です。面白半分で言ってしまうことや冗談のつもりで言ってしまったことが相手の心に傷を負わ



加茂地区の更生保護活動
～地域の「愛の協力運動」に支えられて～

更生保護活動とは、犯罪や非行をした人を社会の中で適切に処遇し、地域社会の理解・協力を得て、自立し改善更生することを助けることにより、安全安心な地域社会を作ることを行います。

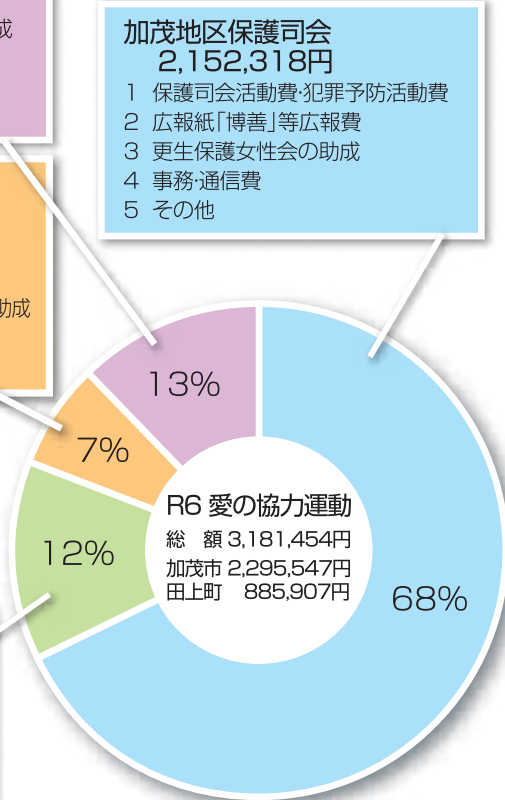
その活動を支えている「愛の協力運動」は、更生保護の充実を目指し昭和二十年代末頃に始められました。その後、名称や組織・法律の変更などを経て、現在は更生保護法人新潟県保護観察協会（理事長は新潟県知事）の会員募集として行われています。

加茂市・田上町では、毎年七月の「社会を明るくする運動」強調月間にあわせ、各地区を通して市民・町民の皆様「愛の協力運動」への会員のご協力を呼びかけています。（封筒を各戸配布せず地区で一括納入するところもあります）

令和六年度は一世帯あたり三百円を目標にご協力をお願いしたところ、加茂市・田上町合わせて約三百十八万円の会費をお寄せいただきました。このうち、約六十三万円は、加茂市・田上町の「社会を明るくする運動」実施委員会に、

約二百十五万円は加茂地区保護司会（加茂市・田上町）に、新潟県保護観察協会から配分されています。加茂市・田上町の皆様からお寄せいただいた会費の約七十％を加茂地区保護司会に配分していただき、更生保護活動を行うことができます。

ていますことに感謝しております。今後も、犯罪をなくし、再犯者を生まないための身近な社会貢献活動とお考えいただき、「愛の協力運動」にご理解、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



新潟県保護観察協会
(理事長：新潟県知事)
397,682円

- 1 更生保護施設新潟川岸寮へ助成
- 2 県BBS連盟(※)等へ助成
- 3 県就労支援事業者機構へ助成
- 4 その他

田上町実施委員会
(委員長：田上町長)
235,907円

- 1 ブックスタート絵本費用
- 2 「心の健康づくり」保健講演会費用助成
- 3 作文審査等費用
- 4 その他

加茂市実施委員会
(委員長：加茂市長)
395,547円

- 1 作文審査等費用、絵本代
- 2 ミニ集会助成
- 3 社明運動啓発物品購入費
- 4 事務費他

連携事業講演会レポート

令和六年七月二十日、加茂地区保護司会と更生保護女性会は初めての連携事業として、講師田辺一邑氏をお迎えし、「更生保護の父」と言われる金原明善の半生を「読む」と言うそうです。当日は地元「社会を明るくする運動」の取り組みについての紹介も行われ、ご参加くださった約百五十名の方々と更生保護への理解を深めることができました。



※BBS：子ども・若者が非行に陥っても立ち直ることができ、生きづらさを抱えながらも安心して生きていける社会を築こうとする、青年が先導する全国的な運動。近隣では三条地区BBS会が活動中です。